

令和4年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	農業振興助成事業	会計名称	一般会計			担当課	農業振興課	
		予算科目	6 款 1 項 3 目	事業番号	2450	所属長名	池内伸至	
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）			担当責任者名			中塚正洋	
法令根拠等	・伊予市農業及び漁業廃棄物処理事業費補助金交付要綱・伊予市次代を担う若い農林漁業就業促進事業費補助金交付要綱			【開始】令和／平成 17 年度				
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 魅力ある農業の振興			実施期間			【終了】	令和 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	魅力ある農業の振興のための補助事業							
事業の対象	JAえひめ中央（市内農業者）・就農研修資金借受者			事業の目的	・農業生産に伴い排出されるプラスチック系廃棄物の一括回収・再生処理を行い、生活の環境保全を図る。 ・就農研修費の償還金を補助することで担い手不足の解消を図る。			
事業の内容（整備内容）	・農業廃棄物処理補助事業 ・就農研修資金償還免除事業			昨年度の課題に対する具体的な改善策				

事業活動の内容・成果 (D0)

事業費及び財源内訳(千円)							事業活動の実績(活動指標)							
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	4年度予定	9月末の実績	4年度実績		
直接事業費	1,082	1,082	0	0	0	1,051	財源内訳	回収・再生処理量	t	66.06	72	0	58.8	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0								
県支出金	60	60	0	0	0	60								
地方債	0	0	0	0	0	0		回収・再生処理件数	件	461	300	0	409	
その他	0	0	0	0	0	0								
一般財源	1,022	1,022	0	0	0	991								
職員の人工(にんく)数	0.30	0.26				0.26								
1人当たりの入件費単価	7,841	7,794				7,794		就農研修資金償還免除者	人	1	1	0	1	
※ 直接事業費+入件費	3,434	3,108				3,077								
主な実施主体	直接実施	実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)			補助金									
向こう5年間の直接事業費の推移(千円)							5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	5年間の合計		
成果指標	指標	当該年度農業用廃棄物回収・再生処理量/前年度農業用廃棄物回収・再生処理量×100 なお、就農研修資金償還免除事業は、請求に基づき償還予定額を支給する裁量のない事務のため、指標設定は行わない					1,082	1,082	1,082	1,082	1,082	5,410		
	指標設定の考え方	再生・回収処理を行った農業廃棄物の処理量を前年度と比較することで、市民生活の環境保全に寄与する事業効果を測る。なお、就農研修資金償還免除事業は、請求に基づき償還予定額を交付する事務のため、指標設定は行わない。					→	区分年度	前年度	4年度	5年度	目標	毎年度	
	指標で表せない効果	生産技術の未熟な新規就農時において、収益力の脆弱な農業者の支援措置を講ずることで、継続的な農業経営者の確保を図る効果は大きい。						目標	100	100	100	100		
								実績	100.3	89				

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況（今年度の途中経過）		えひめ中央地区農業廃プラスチック適正処理推進協議会にて承認された事業計画に基づき適正な執行を予定している。									
事務事業の評価	自己判定（担当責任者）	妥当性	目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 3 概ね、施策の目的に沿った事業である。 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等への対応	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点	SDGs等環境に対する意識が高まる中、農業生産活動に使用するプラスチックの適正な処理が行われている。		
			社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 3 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3			事業の苦労した点・課題	JAえひめ中央管内で広域的に実施している事業であり、費用対効果も大きいと認められるため、より一層事業の周知・広報による不法廃棄等への削減に努めたい。		
			市の関与の妥当性	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 3 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	3						
		有効性	事業の効果	5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 3 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の苦労した点・課題			
			成果向上の可能性	5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 4 3 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	3						
			施策への貢献度	5 施策推進への貢献は多大である。 4 3 施策推進に向け、効果を認めることができる。 2 1 施策推進につながっていない。	3						
	一次判定（所属長）	効率性	手段の最適性	5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 3 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 2 1 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由)		
			コスト効率	5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 3 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 2 1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	3				SDGsに掲げられる目標達成のためには、国が定める「プラスチック資源循環戦略」に資する取組が必要であり、本事業内で主要な事業である農業廃棄物処理事業は、多量に排出される農業用廃プラの適正処理は重要であるため、事業継続と判断する。		
			市民（受益者）負担の適正	5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 4 3 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	3						
		効率性	目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 3 概ね、施策の目的に沿った事業である。 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	所属長の課題認識	本事業では、JA・市町・生産者部会の代表者及び販売業者で構成される「えひめ中央地区農業廃プラスチック適正処理推進協議会」において廃プラの適正処理に関する方向付けが行われており、農村における環境保全・施設園芸の健全な発展に資する取組が行われており、現時点での課題は認められていない。		
			社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 3 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4						
			市の関与の妥当性	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 3 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	4						

施 策 を 踏 ま え た 判 断	二 次 判 定	<input type="checkbox"/> 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 <input checked="" type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 <input type="checkbox"/> 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		 <p>指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。</p>

行政評価委員会の答申	外 部 評 価	答申の内容
------------	------------------	-------

今後の方針性（ACTION）

の経 最 終 者 判 会 議	事業の方向性	コメント欄
		<input type="checkbox"/> さらに重点化する。
		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する。
		<input type="checkbox"/> 見直しの上、継続する。
		<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。
		<input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。